

異国情緒あふれる朝鮮通信使行列

瀬戸内牛窓国際交流フェスタ

11月7日、牛窓町牛窓で、瀬戸内牛窓国際交流フェスタが開催され、江戸時代に朝鮮国王から徳川幕府へ派遣された朝鮮通信使の行列が再現されました。朝鮮通信使の寄港地の一つが牛窓だった史実を通じて、文化交流の歴史を伝えようと、市民有志が実施したものです。

行列には約150人が参加。しおまち唐琴通りなどを太鼓やかねを鳴らしながらにぎやかに歩きました。牛窓東小学校に到着すると、正使役の金永俊駐神戸韓国総領事と武久頭也市長が「国書」を交換。地域の児童らによる伝統芸能や人形劇なども披露されました。



行列を先導した韓国民団の参加者（左下）／両国の善隣外交を祈念した「国書」交換（右上）

健康な生活を目指して

瀬戸内市健康フェスタ



健康チェックで肺などの実年齢を測定（左上）／たくさんの方が集まったシンポジウム（右下）

11月21日、生活習慣病予防を狙いに瀬戸内市健康フェスタが、牛窓町公民館で開催されました。

シンポジウムでは、谷崎眞行瀬戸内市民病院事業管理者が自身の運動による体重の変化の記録を基に、継続してできる生活習慣病予防について説明。また、(社)岡山県歯科医師会瀬戸内支部の中條新次郎氏は、顔の筋肉を鍛えることで、老化を遅らせることができると語っていました。

この他にも健康診断の重要性を歌う体操「健康で365日のマーチ」の披露、介護相談、クイズラリーなどが行われ、健康に対する関心を高める有意義な一日となりました。

いつまでもお元気で

佐藤茂夫さんが満100歳に

12月22日に、満100歳を迎えた佐藤茂夫さん（邑久町豆田）をお祝いに、いきいき長寿課職員が入院先の藤原整形外科を訪問しました。

職員や家族の皆さんに見守られながら、お祝い状などを手渡されると、佐藤さんは「ありがとうございます」と喜びを語っていました。

歩く会に参加し、県内はほとんど歩いたという佐藤さん。また、碁や通信教育で書道を習うなど多くの趣味を持っていました。現在も歩行器を使って廊下を往復したり、般若心経を書いたりと常に体と頭を使うことを心掛けているそうです。佐藤さん、これからも元気で過ごしてください。



県内を歩いたときの思い出を語る佐藤さん

cover photograph



今月の
表紙

上寺山を良くする会（有森剛会長）が、12月30、31日に上寺山境内（邑久町北島）のライトアップを行いました。本堂や三重塔、北島神社などが夜空に浮かび上がり、幻想的な雰囲気にも包まれた境内には、たくさんの写真愛好家が訪れ、盛んにシャッターを切っていました。31日には、参拝者へ炊いた大根や甘酒の接待、新年への願いを込めて風船を飛ばすイベントなども行われました。

子育て応援まちづくり

せとうちこどもフェスティバル



オープニングを飾った保育園児鼓隊演奏と踊り

11月14日、ゆめトピア長船で子育て応援まちづくりイベント「せとうちこどもフェスティバル」が開催されました。子育ての夢や楽しさ、喜びなどを広くPRするため、市が初めて実施したもので、子育てに関する数多くのイベントが行われました。

オープニングセレモニーでは、市内の公立保育園の園児140人が演奏と踊りで会場を盛り上げました。

その後のステージでは、就実短期大学の学生ボランティアによるリズム体操やオペレッタが行われ、会場が一体となって歌ったり、踊ったりして親子で楽しい時間を過ごしました。また子どもの発育に関する相談や食育PRのコーナーなども設けられ、子育てについての知識や理解を深めることができました。

午後からは、株式会社トランタンネットワーク新聞社代表の藤本裕子氏が「つながろう、支えよう 百万母力の子育て」と題して講演会を開催。「お母さんはすごい。子育ては素晴らしい」と語り、会場を訪れた父母らは熱心に聴いていました。



①しっかり歯磨きできたよ／②ボランティアによるリズム体操／③廃品を使ったおもちゃ屋さん／④ステージに登場したセットちゃん

※HPにカラー版あり